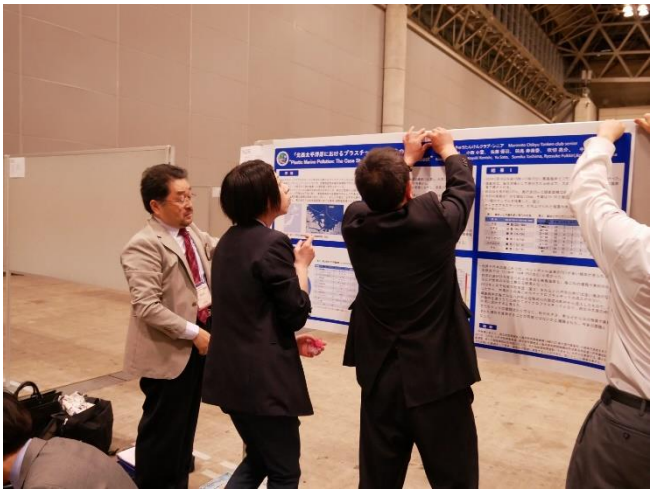
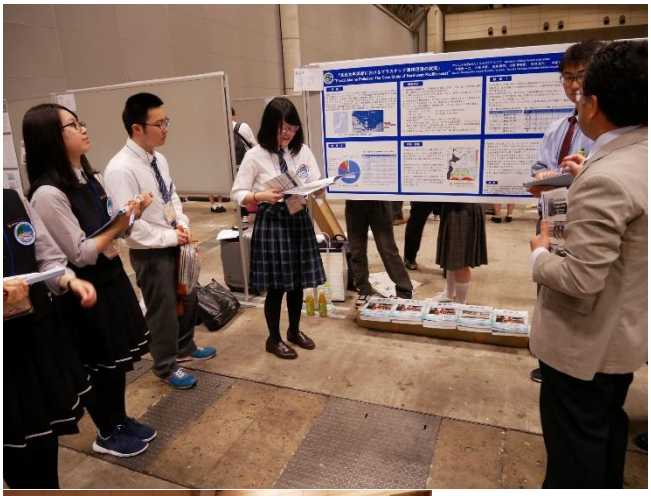
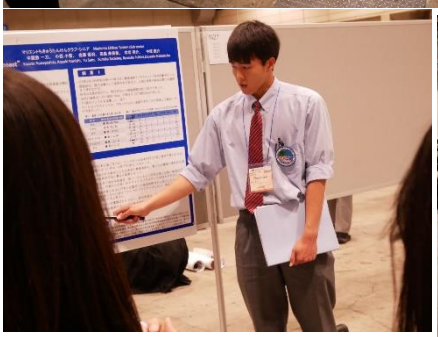
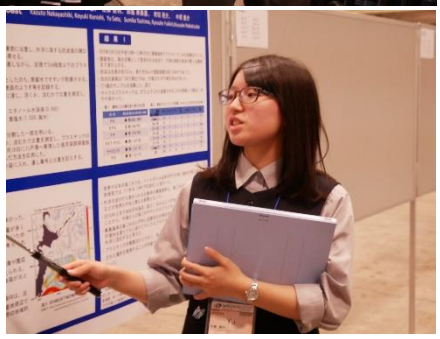
まずは、ポスター発表場所を確認し、設営を行いました。ポスター掲示後、事前練習をし、最終確認を行いました。



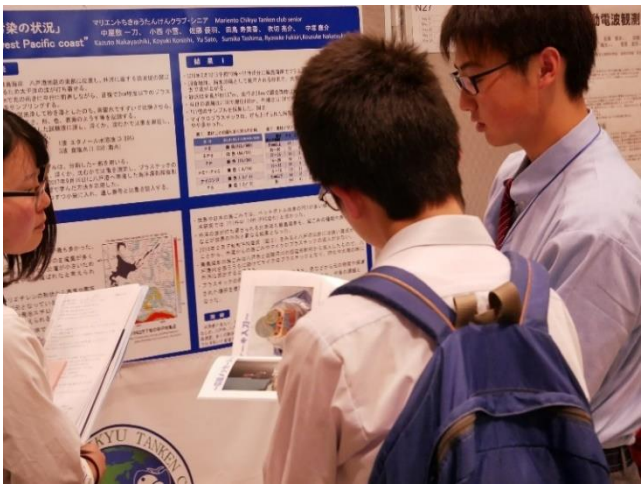


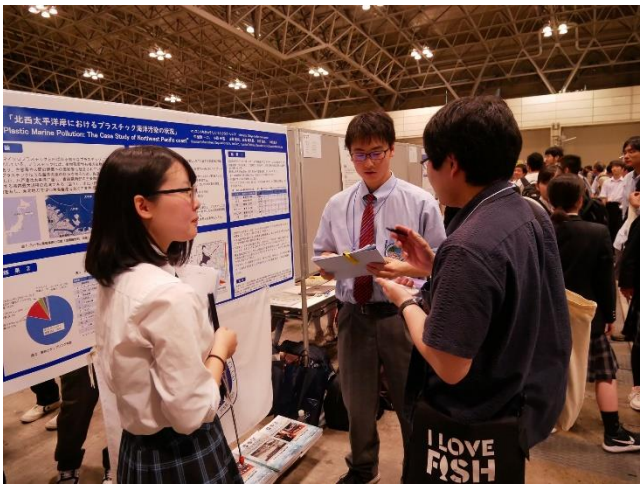
〇概要説明（発表者：小西　小雪、吹切　亮介）

ポスターコアタイムの前に高校生セッション参加校全てのグループによる概要説明が行われました。こちらはその時の様子です。

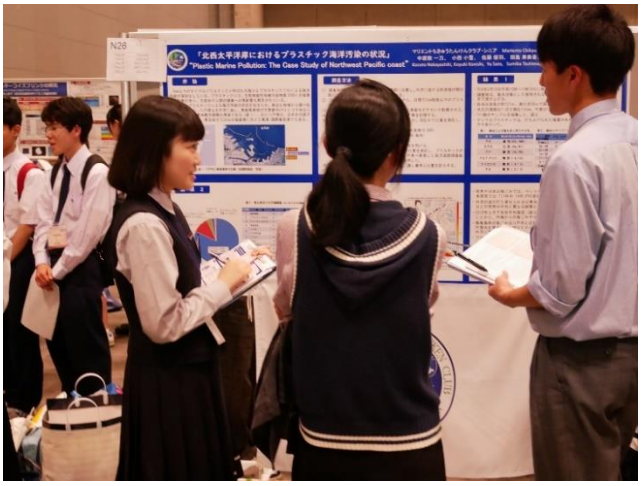
1グループ45秒以内での発表となります。今年は全部で78グループの参加数となりました。概要説明では、小西さんが、200名ほど収容できるほどの広い会場の中で、多くの本大会参加者の前で、マリエント及び「ちきゅう」たんけんクラブについて説明し、吹切君がポインターの操作をしました。たんけんクラブ・シニアの発表の順番は34番目でした。

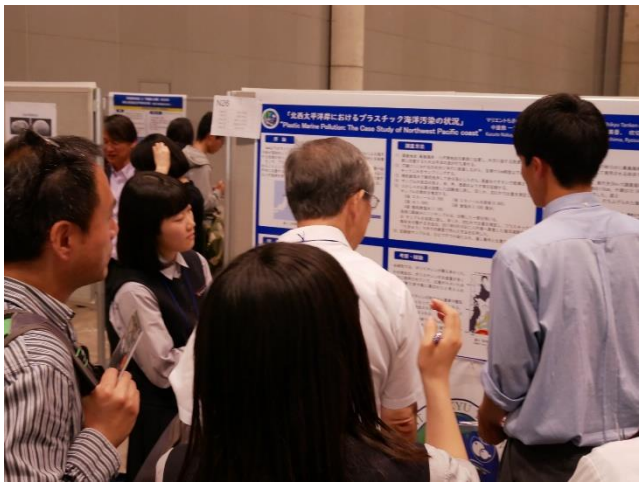
〇ポスターセッション　002-P34　北西太平洋岸におけるマイクロプラスチック海洋汚染の状況
（ポスターコアタイム13:45～15:15）

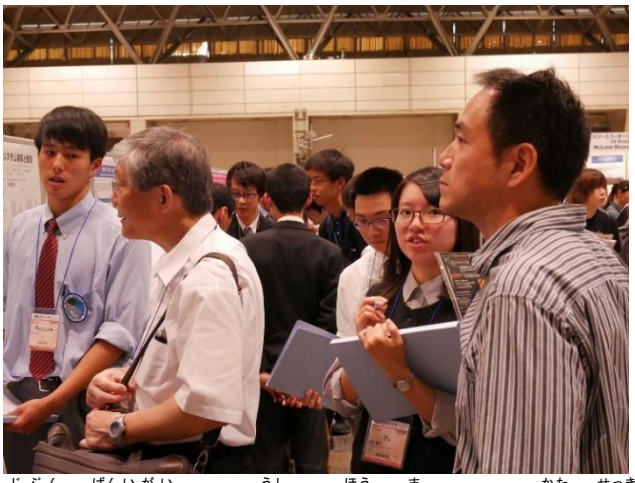


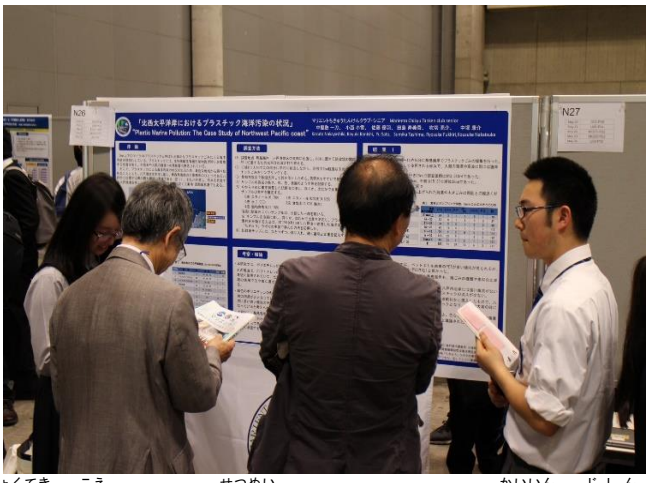


ポスター発表コアタイムとなり、開始とともに、1組目の小西さん、中塚君ペアの所には次々と色々な方が発表を聞いていってくださいました。









自分の番以外でも、後ろの方で待っている方に積極的に声をかけて説明をしたり、クラブ会員は自信を持って発表に臨みました。

時間いっぱいまで、多くの方からの質問にも協力して対応をし、クラブ会員のみんなが持っている力を最大限に発揮できたと思います。発表を終えた会員たちからは笑顔がこぼれました。

マリエントちきゅうたんけんクラブ・シニア「JpGU（日本地球惑星科学連合）2018年大会」参加報告会

〇八戸市長への報告会を下記のとおり行いました。

１．日　時　　平成30年6月8日（金）16:30～17:00

２．場　所　　八戸市庁　本館2階　庁議室

３．内　容　　「日本地球惑星科学連合（JpGU）2018年大会」での活動報告並びにシニア会員によるポスター発表

４．出席者　　八戸市長 小林 眞 様

八戸市教育委員会教育長 伊藤 博章 様

国立研究開発法人海洋研究開発機構研究成果活用促進八戸市議会議員連盟

会長 坂本 美洋 様

八戸市教育委員会教育部長 吉田 幸司 様

≪JpGU報告会参加者≫

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ・シニア会員

中屋敷　一刀　八戸工業大学第二高等学校 普通科　３年

小西　小雪　八戸工業大学第二高等学校 普通科　３年

吹切　亮介　岩手県立種市高等学校　海洋開発科　３年

中塚　康介　岩手県立種市高等学校　海洋開発科　３年

佐藤　優羽　八戸聖ウルスラ学院高等学校 普通科　３年

田島　寿美香　八戸聖ウルスラ学院高等学校　普通科　３年

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ・シニア　会長　髙橋　晃

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ・シニア　副会長　井上　貫之

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ・シニア　副会長　横葉　和浩

八戸聖ウルスラ学院高等学校　教諭　岡沼　尚武

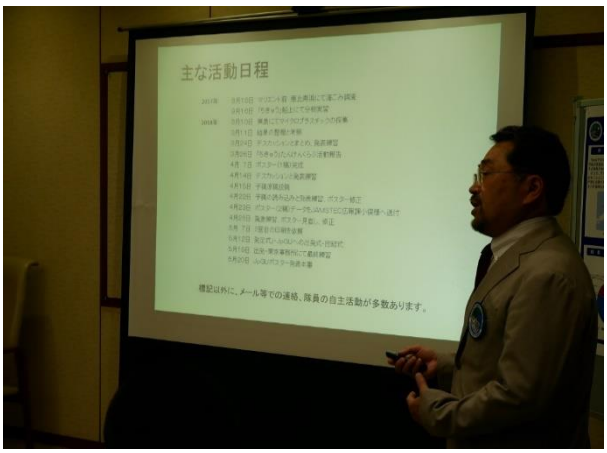
八戸工業大学第二高等学校　教諭　藤澤　諒

八戸市水産科学館マリエント　館長　吉井　仁美

八戸市水産科学館マリエント　主任　山本　綾香　　参加者計１３名

（１）「日本地球惑星科学連合（JpGU）2018年大会」発表までの取組みをスライドで紹介

発表者：マリエント「ちきゅう」たんけクラブ・シニア高橋晃会長



（２）「北西太平洋岸におけるプラスチック海洋汚染の状況」ポスター発表

発表者：八戸工業大学第二高等学校　中屋敷 一刀、小西 小雪

八戸聖ウルスラ学院高等学校3年　佐藤　優羽、田島　寿美香

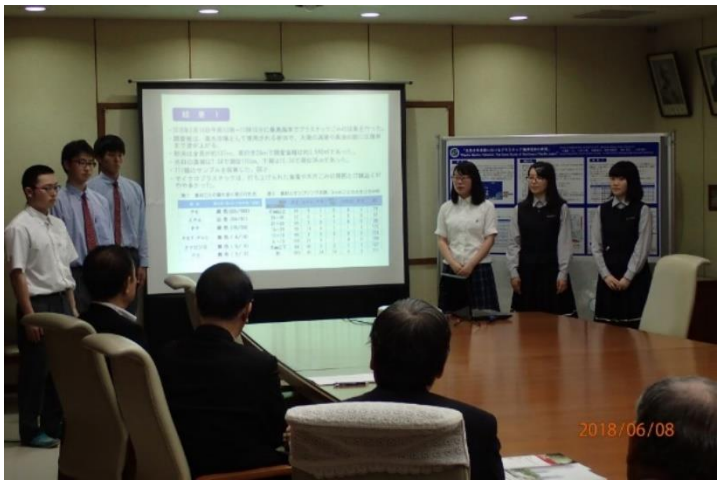
岩手県立種市高等学校3年　吹切 亮介、中塚 康介

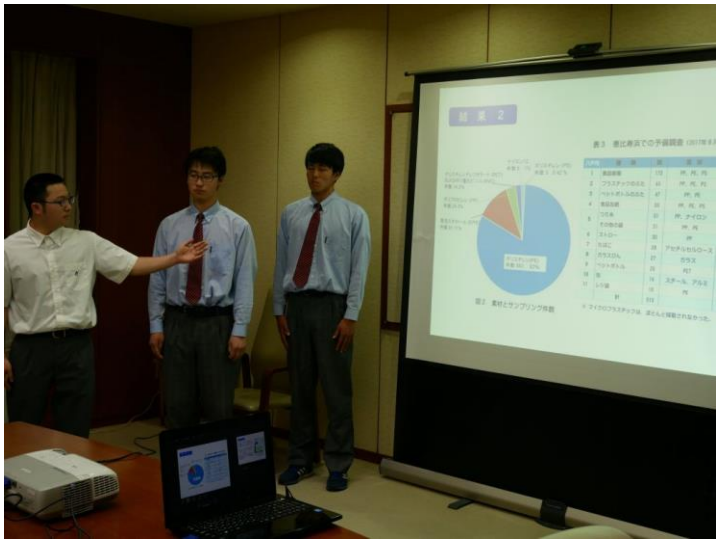
（３）シニア会員及び会長、副会長、引率教諭、マリエント館長よりご挨拶

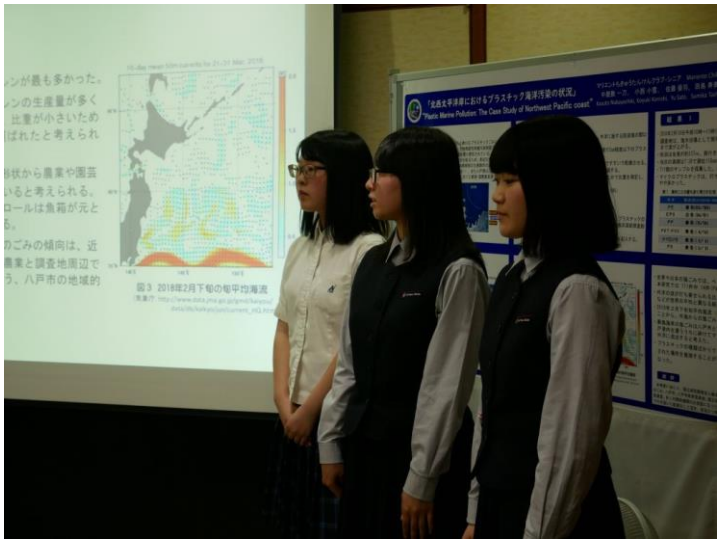
（４）市長・教育長・坂本会長よりご挨拶

（５）記念撮影

（６）終了







ポスター発表後、シニア会員及び、シニア会長、副会長、各学校の引率教諭より、自己紹介を含め、本大会へ参加しての感想等、一人ひとり挨拶をしました。

その後、マリエント吉井館長よりご挨拶。

来年も本大会への出場を継続して挑戦していきたいとお話をしました。

八戸市長 小林 眞 様

「ジュニアから始まり、シニアに移行し、皆さんが一生懸命積み重ねてきた努力の賜物である。また、マイクロプラスチックの汚染問題は、今では世界的にも問題視されており、解決へ向けた研究のきっかけとなり、次の大きな動きにつながるはず。今後の活躍に期待しています。」と激励のお言葉を頂きました。

八戸市教育委員会 教育長 伊藤 博章 様

「しっかりと研究した内容を自分のものにしていて、説得力があり伝える力を感じ素晴らしい発表でした。」お褒めのお言葉を頂きました。

JAMSTEC研究成果活用促進八戸市議会議員連盟

会長 坂本 美洋 様　「人と人との絆が素晴らしいこと、また、本大会には多くの参加者がいた中で、マイクロプラスチックの問題について発表をしたのは唯一たんけんクラブだけであったことから、青森八戸から先駆けて尚且つ中身のある内容で、八戸を担う皆さんの発表は素晴らしい」とお言葉を頂きました。

報告会終了後には、光栄にも小林市長と全員が握手をさせて頂きました。

最後となりましたが、本発表にあたり、多大なる御支援・御協力をいただきました国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）海洋科学技術イノベーション推進本部　調査役　島村 道代 様、広報部広報課　小俣 珠乃 様、八戸市、八戸市教育委員会、国立研究開発法人海洋研究開発機構研究成果活用促進八戸市議会議員連盟他、多くの関係機関の皆様に心より感謝申し上げます。

また、発表の資料作成等ご指導くださいましたたんけんクラブシニア会長高橋晃様、副会長　井上貫之様、横葉和浩様、本大会へ生徒並びに先生の参加（派遣）することの趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいました各学校の皆様、本当に有難うございました。

本大会において、多くの来場者の皆様からの質問に生徒自身で答えを導き出し、それに対し専門家の皆様からご意見をいただくことにより、会員一人一人が新たな知見と広い視野を持つことが出来たと思います。さらに、多くの皆様に今回の取り組みと成果を紹介することができたとともに、無事発表を終えることが出来ました。これもひとえに日頃活動を支えてくださる多くの皆様方のご支援ご協力の賜物と改めて強く感じた次第です。八戸市水産科学館マリエントといたしましては、この素晴らしい体験の機会を与えていただいた関係者の皆様に感謝し、この貴重な体験を活かし、将来の海洋研究開発に関わり海洋の未来を切り拓く人材育成を目指して、マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ活動の更なる充実に向けスタッフ一同さらに精進してまいりますので、今後ともご指導ご協力の程宜しくお願い申し上げます。